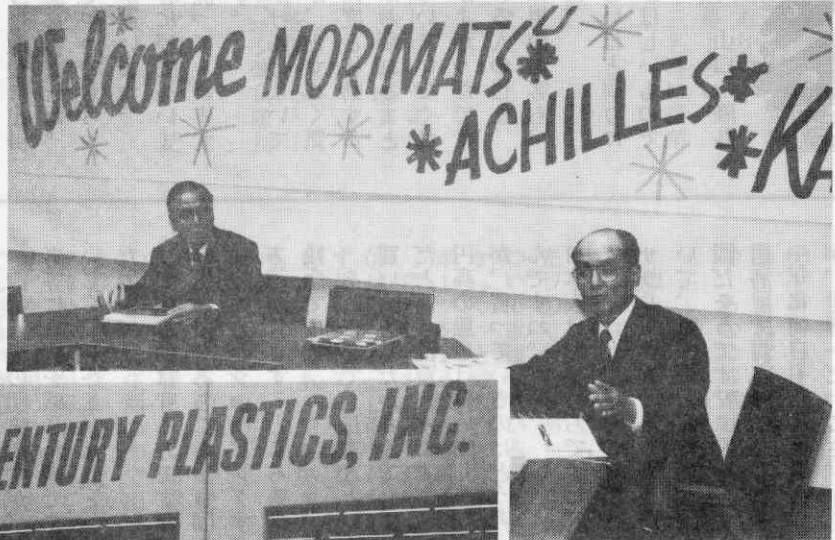


波紋

1987

12



アメリカ大陸

始めて砂漠を見ました。地平線の続く限り広大な風景だった。コロンビア川のほとりに立って、海から吹き上げてくるかのような強い風に身をさらされながら、ここに育った人々の気持ちが少し解った気がした。伊吹山や、木曾川、長良川、天白川のふもとで育った人間には、この大自然にふれた事は、大変有意義である。自分一人、人間の小ささに、シヨックを覚えた。たった一日でこんな事だから、三年、五年と暮したら、人生観が大分変る事でしょう。仕事に対する姿勢、家族に対する考え方、社会や、地域に対してのかわり等、我々と差がある事が良くわかった。

モーリンより少し大きな規模のビニール加工会社では2交代制で操業していた。朝七時～午後三時。三時～夜七時の二部制です。まさに「セブン・イレブン」。

多くの女性が活躍している。私が訪問した三社では、従業員の半分以上が女性でした。

日本でもどんどん職場に進出してくる日は、間近く思いました。

森 信之

『フォーシーズン』

今年も早いもので残すところわずかととなりました。一九八八年に向かいますますあわただしくなると思います。早め早めに物事を処理し、ゆとりある年末にしたいと毎年思っています。がなかなかできませんね。

先日行ける時に行っておこうと散髪に出掛けました。最近では床屋さんも高くなりました。そこで弟の勤めている美容院でやってもらったのですが床屋さんとは勝手が違います。まず頭の洗い方ですが後ろ向きに寝て洗います。時間をかけていいねいに洗ってくれますので思わず寝てしまおうです。湯の温度はいかがですか、力かげんはよいですか。かゆい所はありませんか、とすごく気を使ってくれます。それから何度と移動するんですがその度近くににいる人がお疲れさまと声をかけてくれます。助手がついていてくれますので時間も早く大変気分がよかったです。ただ気になるのは道を歩いている人の目と、お客さんの気持ちですが最近では男のお客も、多いとかでいい経験をしました。

さて忙しい年末ですが、忙しいほど周りに気を使えるほどの心のゆとりがほしいものです。

山口 隆弘



韓国を訪ねて

お客様の総会で韓国へ行きました。

四日間の慌ただしい旅でしたが、韓国の勢いを感じました。色々国内事情がバタバタしているとは新聞等で知っていましたが、さほどのことではない様に思われました。

一四〇人程の団体ですが、多くの皆さんが食事等に抵抗を感じた様ですが、私は何でもおいしくいただく方ですから、全く抵抗がなかったです。

団体行動は守る方ですが、どちらかというのと単独で、あちこち歩き回りたい方です。

一般の方がショッピングするところ、庶民の方達が食事するところ等へ行けなかった事が残念です。

それにしても日本人というのは、何故かあ買い物をしたがるんですね。買わにゃ損だという位買うんです。

円高の恩恵は買い物しなかってな感じですが、買っているのはどう考えても四倍は高いんですね。

日本人はお金持ちですね。ガイドマンが言っていました。世界の経済大国だそうです。

サラリーマンの多くの人達が必死になって働いて、家一軒買えないお国が世界一の経済大国だそうです。

居酒屋で肩寄せあってウサを晴らす。

一年に何日もナイ休みに旅行すら出来ない国が、世界一だつてさ。

韓国は目標を持っています。世界一の国、日本人は何の目標があるんですかね。

帰り新幹線で飲んだ日本酒と、貝柱のおつまみ、こりゃ最高だわ

木村 英利

★暮しのエッセイ

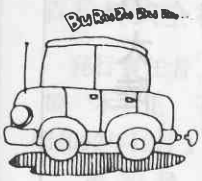
余裕のある運転

仕事柄一日中車に乗っていると車の中でのいろいろな事をしてる人を見ます。化粧をしている女の人の、髭を剃っているサラリーマン、地図を見ながら運転しているトラック運転手、子供を背負ったまま運転している主婦など、いろいろな運転手があります。

のんびりムードで運転している人。

そうかと思うと、割込みは絶対させないぞと車間距離をつめて運転している人、なにがなんでも割込みとうと強引に車の頭を入れてくる人、割込み方が気に入らないとホーンを鳴らさなければ後を追って行きケンカしている人、渋滞しているとすぐ側道や路肩を走っていく人、余裕なく運転している人は見えて危ないなーと思います。もっと余裕をもって、ゆずり合って運転していきたいと思えます。

岩間 正美



今年も年末

ジャンボクイズ

少しむつかしいかな？ 年の暮の忙しい時に！なんて言わないで、忙中閑あり。さあ！皆で解いてどんどん御応募下さい。締切日十二月十五日 抽選にて三名様に豪華景品をさし上げます。

- ① 林間
中国人じゃありません。
アメリカ南北戦争の……。
- ② 丸子方路
道の名前じゃない。ただしロードには関係あり。『東方見聞録』といえは……。
- ③ 御戸開
やんごとなき人が住む戸を開ける……
といえ意味じゃない。ゲルマン傭兵隊長
- ④ 不言三世
漢文調で読んでね。ロシアでツァーと称すると……。
- ⑤ 我理西武
西部ライオンズと関係あるのかな。
この人は「それでも地球は動いている」と主張した人。
- ⑥ 笑類
ニコッと笑ってトルコに宣戦したロシアの皇帝。
- ⑦ 弱損
弱くて損するのはあたりまえ。でもこの人はアメリカ第七代大統領。

第一回 アンケート調査

毎月の生活の中で

- ① あなたはストレス解消法何かしてますか？
- ② 三日間休暇が出来たらどの様に過しますか？
- ③ あなたは運動不足だと思いますか？
何か対策を立てていますか？

以上の三点のアンケートをとってみました。返事が帰ってきたのは十八通、以下はその集計内容をまとめてみました。

先づ①で最も多かった答が、お酒を飲む、11ついで重複している所もありますが、カラオケ、ぐつと健康的に、子供、とあそぶ、スポーツをする、映画を観る、が各2、他は、寝る、おしゃべり、自然にふれる、等②はやはり三日間では対した事は出来ないですね。せめて一週間ならもう少し楽しい答えもあったかも、でもあまりに現実ばなれしうで。

最も多かったのが、近くへ一泊の温泉旅行、何故か一泊なのです。続いて、家族サービス、ゆっくり寝る、部屋のそうじ、なのです。③、毎日の生活の中で出来るだけ身体を動かす様心掛けて、と見上げた心（それだけで運動不足が解消されれば大したものです）次が、思わない、さすが森松マン、続いて、思うが時間がなく何もやっていない、大丈夫かなあし心配です。そしてユニークな答を一つ、テレビでスポーツを観て精神的に解消、いかゞでしたか？何かちょっぴり淋しい内容になってしまいました。さて第二回アンケートにはどんな質問をしようかな。無い智恵しぼって考えて置きますのでその時はよろしく。御協力ありがとうございます。

編集部一同

☆マコのものしりコーナー

「イクラと筋子」

イクラが姉で、筋子は妹のようなもの。イクラは鮭種としても高級品です。見た目もきれいですし、歯ざわり舌ざわり、そして味もよく、子供から大人まで人気があります。そのイクラは魚の卵で、サケ、マス類が親です。では、筋子は何の卵かというところやサケ、マスの卵なのです。同じサケ、マスの卵ですが製造法に若干の違いがあります。まず、イクラは、サケ、マスから成熟した卵巣を取り出し木綿または麻製の網の上でもみほぐして卵粒をとり、飽和食塩水中に二〇分ほどひたして汚物などを取り除いて、さらに塩分を加え、水切りをすると出来上がりです。赤紅色で粒に張りがあり、特有の濃厚な味とおいのするものが優良品で、表面が乾いていたり苦みがあったりするものはよくありません。次に、筋子ですが、こちらは未成熟の卵巣をそのまま塩漬けにしたものです。取り出した卵巣は水槽内でよく水洗いして、水切りをした後、樽内で塩漬けにされます。小さいうちには集団ですごし、成熟すると独り立ちするのはどこの世界でも同じのようです。ところで、イクラとは、ロシア語の Ikra からきており、広く魚卵のことです。ですから、ロシアではチョウザメの卵、つまりキャビアも「イクラ」といいます。なお、高くなる一方のイクラそっくりのコピー食品が出回っています。見た目、味ともに本物そっくりです。ただ膜が舌に残るようです。あまり安いようですとご用心、ご用心。

今月の社内行事

十二月 八日 中堅幹部会議

午前七時半より

営業部拡販会議

午後六時より

十二月 産業忘年会

二六日 中年会忘年会

二七日 大掃除

二八日 若手会忘年会

十二月十日 焼肉「南山」にて

二九日～一月四日

年末・年始の休業

♡我が家の事件簿♡

娘のおみやげ

夕食の支度もと、のい、ほっと一息ついて
いると、七時を少し回った頃だっただろうか、
弾んだ声で「ただいま」と、上の娘が勤めか
ら帰って来た。何やら、おみやげをぶらさげ
ている。「今日は給料日だったからケーキ買っ
て来たの」と差し出した。

最近、経理の仕事にも慣れて、気持ちゆとり
が出来たのか、編み物教室に通うかたわら、
時々こんな事があるのです。

ちよびり大人になったのでしょうか？

夕食の後、お茶を入れさっそくみんなで美
味しく味わいました。

お酒一辺倒で、普段ケーキ等めったに口にし
ない主人が、さもおいしそうに食べているで
はありませんか。

この頃、性格も丸くなり、めっきり白髪とし
わの増えた横顔を、覗き込みながら、その表
情がなんともこっけいで、私は一人でニヤニヤ
してしまいました。

結婚二十二年目を迎えた我家。

長いようにも、短いようにも感じられます。
さまざまなお出かけめぐる中で、家庭の
温もりと、家族の健康を願いつつ、平凡だけ
ど小さな幸せをかみしめた夜のことでした。

竹内 治子



クイズコーナー

11月号のクイズの正確は

①です

※ご応募下さいまして、有難うございました。
当選者3名様には、プレゼントを御送り致し
ました。
次号も沢山の御応募を御待ちしております。



●編集後記

北風の冷たい季節です。

家の中に、とじこもらずに外へ出
て、ピンと張りつめた新鮮な空気
を吸ってみては如何でしょうか？

今月号は、先月御紹介した社長
のアメリカ研修旅行の感想を載せ
てみました。又特別企画として、
森松全社員アンケートをとってみ
たのですが、いかにも森松マンラ
しい(?)回答だった様に思いま
す。さて、一年の締めくくりでも
あるこの月、今年一年の反省をし、
又来年の目標を立てて、仕事面に、
私生活の面に自分を振り返る大切
な時期だと思えます。
又、クリスマス・忘年会等々お酒
を飲む機会が増えて来ますので飲
み過ぎに注意しましょう。
特に森松の男性の方々…。

伊藤 ちはる

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
橋本正子
昭和62年12月1日
第30号